

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 日本エクスラン工業株式会社			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒704-8510 岡山県岡山市東区金岡東町3丁目3番1号					
本票作成	部署名：日本エクスラン工業株式会社 工務部									
主たる業種	分類コード	11	業種名：繊維工業							
事業の概要	アクリル繊維生産量：3,000t／年 従業員数：272名									
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地					
	①	西大寺工場			岡山県岡山市東区金岡東町3丁目3番1号					
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500㎘以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)									

計画期間	令和7年度～令和11年度(5箇年度)									
削減目標	いざれかを選択	総排出量基準	目標削減率 10.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満	
		原単位基準					○			
温室効果ガス排出量	基準年度(令和6年度)			目標年度(令和11年度)						
	15,428 t CO ₂			13,885 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度(令和6年度)の排出量					
	①	西大寺工場			15,428 t CO ₂					
					t CO ₂					
					t CO ₂					
					t CO ₂					
					t CO ₂					
					t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

基幹事業のアクリル繊維製品は、大量生産していた衣料用レギュラー品の大幅な減少を理由に、機能材として多品種小ロット生産へ移行している。そして、今後の事業構造の変革を視野に入れ、10%を目標削減率とした。

【目標削減率達成のための推進体制】

1. 社内
①社長主催の省エネを含むコストダウン会議（毎月） ②エネルギー管理統括者による省エネ対策委員会（2回／年） ③製造部と工務部の省エネ活動を含むプロジェクト会議（毎月） ④TPM活動（2回／年） ⑤ISO14001を通じ環境負荷低減の取組（常時）
2. 社外
①GHG排出量削減についての情報交換会（3回／年） ②GHG排出量削減についての技術交流会（1回／年）

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容			
西大寺工場	(1) 2019年度	ANS設備の適正容量化 圧空設備の最適化	(削減効果 削減効果)	188t-CO2 233t-CO2
	(2) 2020年度	蒸気主管の放熱ロス削減	(削減効果)	81t-CO2
	(3) 2021年度	地下水ポンプの運用改善	(削減効果)	81t-CO2
	(4) 2022年度	純水送りポンプ統合	(削減効果)	23t-CO2
	(5) 2023年度	水源地ポンプ適正容量化 脱湿機の台数削減	(削減効果 削減効果)	81t-CO2 60t-CO2
	(6) 2024年度	空気圧縮機INV化 放熱ロス削減	(削減効果 削減効果)	21t-CO2 458t-CO2

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容		
西大寺工場	(2) 2025年度	製造工程の排熱回収 空気圧縮機更新 空気圧縮機の効率的運用 チームトラップ管理強化	(削減効果 削減効果 削減効果 削減効果)
	(3) 2026年度	生産プロセスの効率化等	(削減効果)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--